

今冬の電力需給見通し

2020年10月30日
北陸電力送配電株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今冬の電力需給に係る見通し・対策がとりまとめられ、政府としての電力需給対策が公表されました。同小委員会の中で示された、北陸エリアの今冬の需給見通しは以下のとおりです。

【今冬の全国最大需要発生断面における北陸エリアの電力需給見通し】

厳寒(過去10年で最も厳気象)の場合

(送電端、単位：万kW、%)

	12月	1月	2月
供給力	521	558	556
最大電力	504	530	523
供給予備力	16	29	33
供給予備率	3.2	5.4	6.4

(注1) 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋。

(注2) 供給力は電源Ⅰ'(主に厳気象時等の需給バランス調整に活用できる電源等)、火力増出力運転、計画外停止、連系線の活用(全国の各エリアの予備率を均平化するよう供給力をエリア間で移動)を考慮。

(注3) 最大電力は全国の最大需要発生断面の北陸エリアの想定。

(注4) 四捨五入の関係で計算が合わない場合がある。

また、全国の各エリアで安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しが示され、北陸エリアにおいても今夏に引き続き、国として節電要請は実施しない方針が示されました。一方で、厳冬による需要の急増や発電所の計画外停止の状況等を不断に監視し、必要に応じて更なる追加的な需給対策を検討する方針も示されました。

当社といたしましても、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以上